

-(으)ㄹ 법도 하다

~するのも無理はない

4級の -(으)ㄹ 법하다 に 도 が入って譲歩になった形です。相手を理解する場面で使われます。

■ つけ方

語幹	形	例
патчимなし	-ㄹ 법도 하다	그러다 → 그럴 법도 하다
патчимあり	-을 법도 하다	있다 → 있을 법도 하다
도 の働き	譲歩・理解	無理もない
土台	-(으)ㄹ 법하다	4級の項目
よく使う形	그럴 법도 하다	そうなるのも当然
分かち書き	법 は依存名詞	그럴 법도 하다

■ -(으)ㄹ 법하다 とどう違うか

相手を理解する気持ちを示します。그 상황이라면 화가 날 법도 해요 (その状況なら腹が立つのも無理はありません)。

도 が入ると譲歩になります。-(으)ㄹ 법하다 が「ありうる」という客観的判断なのに対し、-(으)ㄹ 법도 하다 は「そうなるのも仕方ない」という共感。日本語の「も無理はない」に当たります。

그럴 법도 하다 が定番です。相手の言い分や感情を認める場面で使われます。

-아/어 마땅하다 とは方向が違います。마땅하다 は「当然の報い」という断定、법도 하다 は共感的な理解です。

■ 例文

- 1

그런 대접을 받았으니 화가 날 법도 하다.
あんな扱いを受けたのだから、腹が立つのももっともです。
- 2

오래 기다렸으니 포기할 법도 했습니다.
長く待ったのだから、諦めるのももっともでした。
- 3

그 정도 설명이면 믿을 법도 하지요.
その程度の説明なら、信じるのももっともですね。
- 4

이쯤 되면 한마디 할 법도 한데 그는 잠자코 있었다.
ここまで来れば一言言ってもよさそうなのに、彼は黙っていました。
- 5

비용을 생각하면 직접 만들 법도 하다.
費用を考えれば、自分で作るのももっともです。
- 6

사정을 알고 나면 이해할 법도 합니다.
事情を知れば、理解するのももっともです。

■ 紛らわしいもの

-(으)ㄹ 법하다
4級の項目で「ありうる」という客観的判断です。도 が入ると共感になります。
있을 법하다 (ありうる) / 그럴 법도 하다 (無理もない)

-아/어 마땅하다
「して当然だ」という断定です。법도 하다 は共感的な理解です。
비난받아 마땅하다 (断定) / 화날 법도 하다 (共感)

-(으)ㄹ 만하다
「する価値がある」です。법도 하다 は理解を示します。
볼 만하다 (価値)

■ まちがえやすい点

- ✕ 그럴법도 하다

○ 그럴 법도 하다

법 は依存名詞なので分かち書きします。
- ✕ 그럴 법하다 — 「無理もない」の意味で

○ 그럴 법도 하다

도 がないと客観的な判断になります。
- ✕ 살을 법도 하다

○ 살 법도 하다

ㄹ 語幹のあとは -ㄹ 법도 하다 です。